

学術論文	- 論文（査読のあるもの。学会などの抄録などは除く） - 本学学生が著者に含まれているものは赤字で記載 2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載
(論文)	
1	駒田富佐夫、 <u>木下淳</u> . 「副作用が疑われる症例報告に関する情報」による有害事象の転帰、発現時期、被疑薬の解析. 医薬品相互作用研究. 37(2), 7-15, 2013
2	駒田富佐夫、 <u>木下淳</u> . 「副作用が疑われる症例報告に関する情報」による間質性肺疾患、肝機能異常、肝障害、アナフィラキシー反応、好中球数減少および好中球減少症の解析. 医薬品相互作用研究. 37(1) 17-26, 2013
3	駒田富佐夫、 <u>中山優子</u> 、 <u>木下淳</u> . 医薬品情報学掲載論文からみた医薬品情報学に関する研究動向の解析. 医薬品情報学. 14(1), 26-34, 2012
4	堀江弘子, 江口有一郎, 中村隆典, 水田敏彦, 桑代卓也, 岩本英里, 古賀さやか, 田代貴也, 富永智香子, 黒木茂高, 小野尚文, <u>木下淳</u> , 本多義昭, 駒田富佐夫, 尾崎岩太, 安西慶三, 藤本一眞, 江口尚久. 肝炎ウイルス検査受診率向上には医療者による個別の意義の説明が有効である. 肝臓. 53(10), 591-601, 2012
5	堀江弘子、江口有一郎、水田敏彦、桑代卓也、岩本英里、古賀さやか、田代貴也、富永智香子、黒木茂高、小野尚文、江口尚久、中村隆典、 <u>木下淳</u> 、本多義昭、天野学、駒田富佐夫、藤本一眞. 肝炎ウイルス検査を希望しない人の生活習慣の特徴とは？—特定健診の標準的質問票からの予測. 日本未病システム学会雑誌. 18(1), 98-101, 2012
6	堀江弘子、岡田倫明、江口有一郎、水田敏彦、岩本英里、古賀さやか、田代貴也、富永智香子、黒木茂高、小野尚文、江口尚久、中村隆典、 <u>木下淳</u> 、本多義昭、藤本一眞、岩切龍一、小野俊三、駒田富佐夫. ニコチン依存症のスクリーニングテスト（TDS スコア値）は、禁煙の行動ステージ（禁煙への意気込み）に影響を受ける. 日本未病システム学会雑誌. 16(2), 374-376, 2010
7	<u>A. Kinoshita</u> , H. Yamada, H. Kotaki, M Kimura. Effects of anti-malarial drugs on the electrocardiographic QT interval modelled in the isolated perfused guinea pig heart system. Malaria J. 9 318 2010

8	大向智也、 <u>木下淳</u> 、駒田富佐夫、内海裕一．マイクロ構造体を用いた高密度3次元細胞培養法の提案．電気学会論文誌．C 130-C (10), 1789-1794, 2010
9	<u>木下淳</u> 、大向智也、駒田富佐夫、内海裕一．三次元微細構造担体を用いた高密度細胞培養．エレクトロニクス実装学会誌．13(3), 200-203, 2010
10	堀江弘子、中村隆典、黒木茂高、小野尚文、江口尚久、 <u>木下淳</u> 、本多義昭、駒田富佐夫．禁煙治療における患者背景と治療成績との関連性に関する調査研究．医薬品情報学．11 (3) 180-188, 2010
11	<u>A. Kinoshita</u> , D. Kobayashi, Y. Saitoh, F. Komada. Effects of anticancer agents and scavengers for CMV promoter driven exogenous gene expression in genetically modified cells. J. Pharm. Pharmacol. 61, 527-531, 2009
12	清原義史, 大西憲明, 角山圭一, <u>木下淳</u> , 中村隆典, 宮本和英, 矢上達郎, 通山由美, 駒田富佐夫, 奥村勝彦．「姫路獨協大学薬学部における早期体験学習前後のアンケート調査」 医薬品情報学．10 (4) ,273-279, 2009
13	<u>A. Kinoshita</u> , D. Kobayashi, Y. Hibino, T. Isago, K. Uchino, K. Yagi, M. Hirai, Y. Saitoh, F. Komada. Regulation of CMV promoter driven exogenous gene expression with doxorubicin in genetically modified cells. J. Pharm. Pharmacol. 60, 1659-1665, 2008
14	駒田富佐夫, <u>木下淳</u> , 平林敏彦, 小久保光昭．「医薬情報担当者（MR）に関するアンケート調査」報告Ⅴ－女性MRおよびMR認定証の提示について－．医薬品情報学．10 (2) ,153-161, 2008
15	郡妙恵, 内海麻希子, <u>木下淳</u> , 篠原徹, 並木路広, 篠塚隆一, 大谷道輝, 山村喜一, 伊藤敬, 内野克喜．薬剤師の病棟常駐による医療の質的向上への貢献 医療薬学．34(5), 426-432, 2008
16	駒田富佐夫, <u>木下淳</u> , 平林敏彦, 小久保光昭．「医薬情報担当者（MR）に関するアンケート調査」報告Ⅳ－医薬品情報の提供について－．医薬品情報学．10 (1) , 29-39, 2008
17	駒田富佐夫, <u>木下淳</u> , 平林敏彦, 小久保光昭．「医薬情報担当者（MR）に関するアンケート調査」報告Ⅲ－好ましいMRについて－．医薬品情報学．9 (3) ,190-197, 2007

18	駒田富佐夫，<u>木下淳</u>，平林敏彦，小久保光昭．「医薬情報担当者（MR）に関するアンケート調査」報告 II －MR との面談について－．医薬品情報学． 9(2)， 137 - 149， 2007 2006 年以前 2 報 以 上
----	--

著書	著書（2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載。）
(著書) 1 2 3 4	みてわかる薬学 図解 医薬品情報学 改訂 3 版、折井孝夫編、木下淳他著、南山堂、2014 医療薬学 第 6 版、堀了平、乾賢一、奥村勝彦監修、木下淳他著、廣川書店、2014 医薬品情報学―基礎から臨床へ―、岡野善郎、京谷庄二郎編、木下淳他著、廣川書店、2012 医療薬学 第 5 版、堀了平監修、木下淳他著、廣川書店、2009 2006 年以前 なし

学会発表等	・2007 年以降における招待講演演者やシンポジスト ・2007 年以降における国際学会（国内外での開催を問わない）のうち<u>発表者</u>であるもの（共同研究者の場合は除く） ・2007 年以降における<u>本学学生</u>が<u>発表者</u>となっている学会発表（学生が共同研究者の場合は除く）
(招待講演) 1	平成 25 年度兵庫県高等学校教育研究会科学部会研究発表大会及び講演会「薬学教育モデル・コアカリキュラムを通じて考える参加型授業～薬学生および高校生への導入事例を中心に～」2013 年 12 月
2	社団法人電気学会 第 1 回量子ビームによるナノバイオエレクトロニクス技術調査専門委員会「導入遺伝子の発現制御による遺伝子治療の最適化」2008 年 8 月
3	第 1 回日本エレクトロニクス実装学会 ナノバイオデバイス実装技術研究会 「分子生物学から見たナノテクノロジーへの期待」2007 年 10 月
(シンポジスト)	なし
(国際学会) 1	A. Kinoshita, H. Yamada, H. Kotaki, M. Kimura, Effects of Antimalarial Drugs on the Electrocardiographic QT Interval Modeled in the Isolated Perfused Guinea Pig Heart System, 8th Asia-Pacific Travel Health Conference 2010 (Nara)
(学生発表) 1	マウス胚由来腫瘍細胞から拍動心筋細胞への分化に及ぼす分化誘導剤の併用効果の検討 <u>岩切悦子</u> , 植村尚久, 橋本夏実, 菊地晴久, 大島吉輝, 瀬谷和彦, 古川賢一, 中山優子, 高良恒史, 木下淳, 駒田富佐夫 日本薬学会第 134 年会（熊本）2014 年 3 月
2	「副作用が疑われる症例報告に関する情報」を用いた市販後に発生する有害事象の解析、 <u>梶浦綾</u> 、木下淳、駒田富佐夫、第 16 回日本医薬品情報学会総会・学術大会（名古屋）2013 年 8 月
3	ドキシソルビシンによる CMV プロモーター駆動性遺伝子の発現誘導機構の解析、 <u>里木聖羅</u> 、木下淳、駒田富佐夫、日本薬学会第 133. 年会（横浜）2013 年 3 月

4	<u>上垣美紀</u>、中津啓介、平井完治、木下淳、駒田富佐夫、バンコマイシンの投与設計における薬剤師介入効果の検討、日本薬学会近畿支部総会・大会（西宮）2012年10月
5	<u>里木聖羅</u>、木下淳、杉山明子、駒田富佐夫、CMV プロモーター駆動性遺伝子の発現制御過程における JNK および p38 MAPK 経路の関与、日本薬学会近畿支部総会・大会（西宮）2012年10月

助成金・特許	・2007 年以降に交付された競争的資金（研究助成金の名称と種別、課題、交付年度、代表者・分担者の別） ・2007 年以降の特許
(競争的資金)	
1	日本学術振興会 ひらめきときめきサイエンスようこそ大学の研究室へ KAKENHI 「GFP の「スゴさ」を体験～緑に光るクラゲのたんぱく質を使って実験！～」2011、2012、2013、2014 年、実施代表者
2	日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究 C）「エピジェネティック解析情報に基づいた新規抗癌剤耐性克服法の確立」2014 年～ 研究分担者
3	公益財団法人 ひょうご科学技術協会 技術高度化研究開発支援助成「簡易型糖尿病診断用装置の開発」2012 年、研究分担者
4	姫路獨協大学特別研究助成 「CMV プロモーター駆動性遺伝子の発現制御過程における転写制御因子の機能解析」2011 年、研究代表者
5	姫路市産学協同研究助成「血液分析用簡易型多波長解析技術の確立」2011 年、研究分担者
6	文部科学省 科学研究費（若手研究 B）、「導入遺伝子の発現制御による抗癌剤の副作用軽減に関する研究」2008～2010 年、研究代表者
7	平成 20 年度兵庫県 COE プログラム推進事業、「マイクロ空間を用いた超高密度細胞培養リアクタの研究開発」プロジェクトメンバー 2008～2009 年、プロジェクトメンバー
8	（財）新産業創造研究機構 兵庫県産学官ビジネスインキュベート事業、「微細構造工学を応用した人工臓器の開発に関する研究」2007 年、参加者
(特許)	
1	マイクロ空間構造体を用いた高密度三次元細胞培養法、特許出願 2010-40610、特許公開 2011-172533、駒田富佐夫，内海裕一， <u>木下淳</u> ，大向智也，米澤健，本多祐二

社会活動	2007 年以降の社会における活動等（学会や公的機関の委員や役職など。ただし、学内や学園内の委員・役職などは除く） 2007 年以降のその他の社会活動（教育機関や公的機関における講演依頼など）
（社会活動）	
1	日本薬学会近畿支部 「一日在宅体験プログラム」 ワーキンググループメンバー：2014 年～現在
2	兵庫県病院薬剤師会西播支部 編集委員：2009 年～現在
3	南山堂「薬局」 TOPICS 編集アドバイザー：2012 年～現在
4	薬学教育協議会 実務実習教科担当教員会議：2014 年～現在
5	日本私立薬科大学協会 薬剤師国家試験問題検討委員会実務部会 委員：2011 年～現在
6	薬学教育協議会 ヒューマニティ・コミュニケーション教科担当教員会議：2012～2013 年
（教育機関での講演）	
1	インスパイア・ハイスクール事業～魅力・特色づくりの充実～（兵庫県立明石北高等学校）特別授業 2010 年～現在
（その他）	
1	薬学教育協議会 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップにタスクフォースとして参加（3 回）

賞	2007 年以降に受賞した賞
	なし